

## CDP-406/-106 用拡張コイル

### 取扱説明書

1.8/1.9MHz 帯 : CDP-EX1.8  
 3.5/3.8MHz 帯 : CDP-EX3.5  
 7MHz 帯 : CDP-EX7  
 21/24MHz 帯 : CDP-EX21/24  
 28/29MHz 帯 : CDP-EX28

お問い合わせいただきまして誠にありがとうございます。

#### 安全にお使いいただくために！

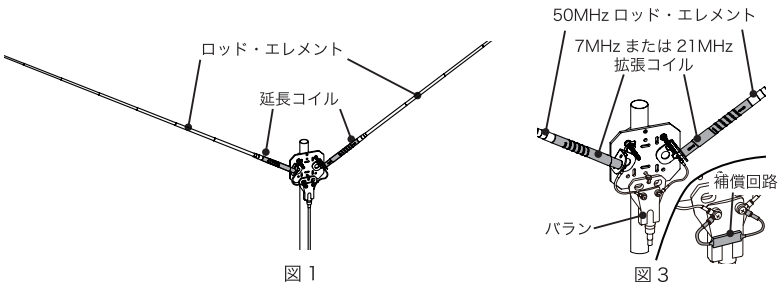
ご使用前に、この取扱説明書と CDP-406/-106 取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。  
 取扱説明書は必要なときにご覧になれるように、大切に保管しておいてください。

#### 【特長】

- CDP-406/-106 のロッド・エレメントに拡張コイルを接続することで各バンドに運用することができます。
- SWR の調整は、ロッド・エレメントの伸縮で簡単にできます。

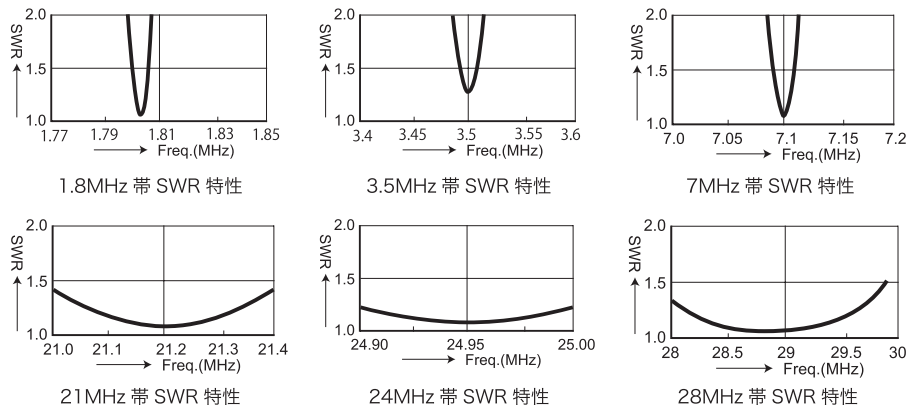
#### 【拡張コイルの取り付け方法】

- ① あらかじめ CDP-406/-106 取扱説明書の「組み立てと調整方法」を参照しベース板、ダイポールブラケット、バランを組み立てておきます。
- ② ロッド・エレメントに運用したい拡張コイルをねじ込み、さらにダイポールブラケットに取り付けます (図 1)。
- ③ 左右のロッド・エレメントを最長に伸ばし、取り付けた拡張コイルのロッド・エレメント調整長 L になるよう縮めます (図 2)。  
**7MHz と 21MHz の場合はバランの両端子に補償回路を接続します (図 3)。**
- ④ 最良の SWR になるように両方のロッド・エレメントを同じ長さで調整します。



#### 【ロッド・エレメントの調整長 L (目安値)】 (図 2 参照)

ロッド・エレメントに拡張コイルを取り付けた状態です。  
 CDP-EX1.8 : 1.800 MHz : 約 1750 mm, 1.913MHz : 約 1570 mm  
 CDP-EX3.5 : 3.500 MHz : 約 1450 mm, 3.800 MHz : 約 1190 mm  
 CDP-EX7 : 7.10MHz : 約 1900 mm  
 CDP-EX21/24 : 21.2MHz : 約 2100 mm, 24.9MHz : 約 1585mm  
 CDP-EX28 : 29.0MHz : 約 2150MHz



#### 【ロッド・エレメント 1cm 当たりの変化量 (目安値)】

ロッド・エレメントの調整は、左右同じ長さでスライドしながら調整してください。  
 CDP-EX1.8 : 7 kHz  
 CDP-EX3.5 : 16 kHz  
 CDP-EX7 : 20kHz  
 CDP-EX21/24 : 150kHz  
 CDP-EX28 : 100 kHz

#### 【規格仕様】

品番	周波数 (MHz)	設置時の利得 (dBi)	耐入力 (W/SSB)	コイル寸法 (mm)	1 本の質量 (g)
CDP-EX1.8	1.8/1.9	2.15	100	250	144
CDP-EX3.5	3.5/3.8	2.15	100	210	95
CDP-EX7	7	2.15	100	165	86
CDP-EX21/24	21/24	2.15	100	165	71
CDP-EX28	28/29	2.15	100	165	63

#### コメント株式会社

〒336-0026 埼玉県さいたま市南区辻 4-18-2  
<https://www.comet-ant.co.jp/>

品質向上のため、予告なく外観・仕様を変更することがありますのでご承知ください。